

point **1**

学習の流れが わかりやすい

新学習指導要領では、学習過程が重要視されています。教科書の流れに沿って授業をすることで、問題解決型学習がスムーズに展開できます。

その特徴は

- 1 学習過程が教科書全体で共通
- 2 学びが「見える」見開きの構成

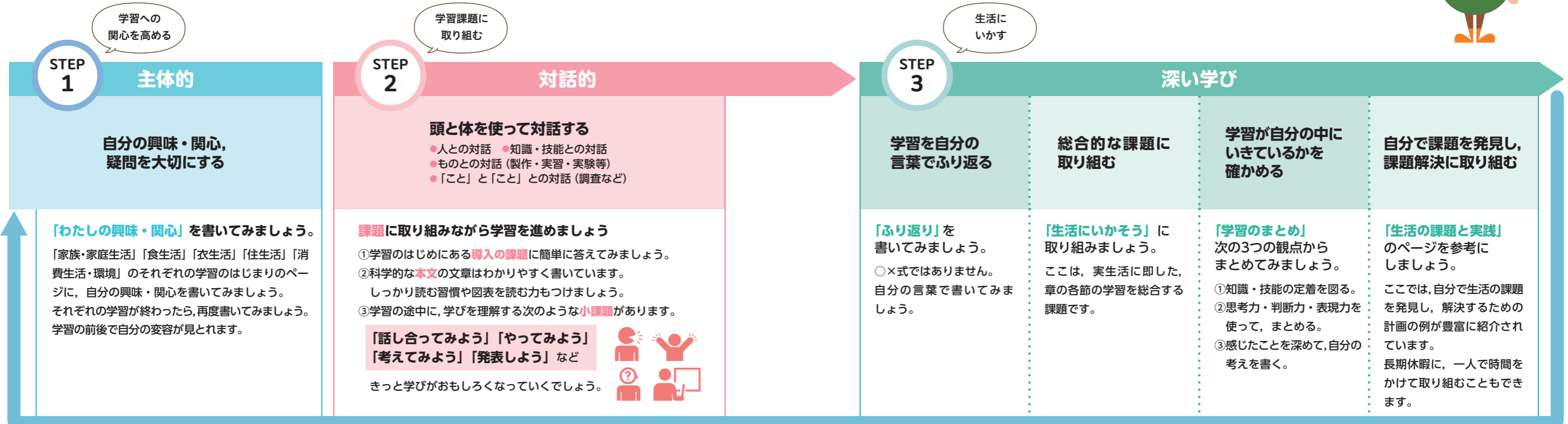
学び方や進め方がわかると、
課題解決に向けて、
取り組みやすくなりますね。



学習過程が教科書全体で共通

新しい教科書では、家庭分野の学習を「家族・家庭生活」「食生活」「衣生活」「住生活」「消費生活・環境」の5つのまとまりに分け、すべて下記のようなプロセスで、学習を進めます。学び方や進め方がわかると課題解決に向けて、取り組みやすくなります。

生活の中で
さらに知りたい・くふうしたい・
やってみたいことが
見つかったらSTEP1から
また始められます。



教科書での具体的な示し方

【わたしの興味・関心の例】

教科書 p14・15

家族・家庭生活 わたしの興味・関心

学習を始めるときに記入しましょう。

学習が終わったら記入しましょう。

【①の例】導入課題

教科書 p108

鼻をつまんで味わってみよう。

【②の例】本文

教科書 p181

洗剤の種類と量を確かめよう

洗剤のはたらきは、主に界面活性剤によるものです。

【③の例】小課題

教科書 p164

やってみよう カラーコーディネート

学習過程のポイント

新学習指導要領では「生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画・実践、評価・改善する」(学習指導要領解説 p.6・7) という「学習過程」が重視されます。新設の「わたしの興味・関心」は「生活の中から問題を見だし」=「課題発見」に対応するもので、自分も持っている問題意識や課題感を見つけて、自ら解決に取り組むことができます。

STEP 3 深い学び

学習を自分の言葉で振り返る

「振り返り」を書いてみましょう。
○×式ではありません。自分の言葉で書いてみましょう。

総合的な課題に取り組む

「生活にいかそう」に取り組みましょう。
ここでは、実生活に即した、章の各節の学習を総合する課題です。

学習が自分の中にいきているかを確認する

「学習のまとめ」次の3つの観点からまとめてみましょう。
①知識・技能の定着を図る。
②思考力・判断力・表現力を使って、まとめる。
③感じたことを深めて、自分の考えを書く。

自分で課題を発見し、課題解決に取り組む

「生活の課題と実践」のページを参考にしましょう。
ここでは、自分で生活の課題を発見し、解決するための計画の例が豊富に紹介されています。長期休暇に、一人で時間をかけて取り組むこともできます。

【振り返り】の例

教科書 p213

【生活にいかそう】の例

教科書 p213

【学習のまとめ】の例

教科書 p225

【生活の課題と実践】の例

教科書 p266 ~ 277

生活の課題と実践

特徴 2

学びが「見える」見開きの構成

教科書は基本的に見開きで1時間の学習内容がまとまっています。1つの見開きの中に、本時の学習の目標や、学習活動、学習の最後までが一覧でき、見通しがもてるようになっています。各種のマークで、視覚的に学習内容を理解しやすくもしています。

今日の学習で学ぶことが見える

「学習の目標」から本時の授業で学ぶことを見通すことができます。

小学校との関連が見える

「小学校での学び」では、本時の授業と関連した、小学校での学習をふり返ることができます。

学び方が見える

学習活動の種類ごとにアイコンで示しています。話し合いなのか、発表なのか、ひとめでわかります。

マークからも学習の内容が見える

- 参考** 学習内容に関して、参考となる内容や資料・解説など
- memo** 本文を補う内容
- 豆知識** 学習内容に関して、ちょっと知っておきたいおもしろい内容や情報
- 安全** 作業を安全に進めるために注意する事柄
- 発展的な学習の内容**
- 環境** 消費生活や環境資源・エネルギーなどに配慮する内容
- 衛生** 作業を衛生的に進めるために注意する事柄
- 伝統文化** 長い歴史を通して築いてきた伝統文化に関連する内容
- 防災** 災害に備えることを目的とする事柄

1 食事の役割と食習慣

1 食事の役割

学習の目標

- 食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。

食事には、健康の維持や体をつくることほかに、どのような役割があると思いますか。

おなかがすくとイライラするかな。
いっしょに食事をすると、仲よくなるよ。

小学校での学び

毎日の食事には、体をつくり、成長させ、活動するためのエネルギーとなったり、体の調子を整えたりするはたらきがあることを学びました。

考えてみよう

宇宙ステーションという限られた空間の中での食事の風景です。このよさはどこにあるか、考えてみましょう。

国際宇宙ステーションで食事を楽しむ野口聡一さん、山崎直子さんたち

豆知識 規則正しく食事をとり続けることで、体は食事をする時間帯を記憶し、その時間帯になると消化酵素が分泌されるようになります。

食事のさまざまな役割

わたしたちは、生きるうえで必要な五大栄養素（⇒p.82）や水分を食事からとっています。毎日食事をとることで、**生命や健康を維持し、成長や活動**をすることができます。また、決まった時間に食事をとることで一日の**生活リズム**がつけられます。中学生の時期は、成長が著しく、活動も盛んです（⇒p.80）。そのため、栄養バランスのとれた食事を十分にとる必要があります。しかし、食事もとる方によっては健康を害することがあります。健康な食生活を送るために食事のとり方や、安全と衛生面に十分配慮した食品の扱い方、調理のしかたを知ることが大切です。また、食事には、家族や友人と食卓を囲むことで、会話が弾み、**人と人とのつながり**を深める役割もあります。さらに、ふだん食べているものの中には、昔から受けつがれてきた地域の食材をいかした郷土料理や加工食品がありますが、それを味わったり、作り方を学んだりすることは**食文化の伝承**につながります（図）。食生活は、住む地域の環境とも深くかかわっています。

「見える化」のポイント

学習の内容や、活動を「見える化」すると、生徒は安心して授業に参加することができます。この「見える化」とは「今日は何を学ぶのか」「今、何をしているのか」「自分はどこにいるのか」ということを可視化することです。教科書紙面でも、授業のゴールや学習内容をわかりやすく示し、学習の流れを統一化することで、生徒は見通しをもって主体的に学習を進められます。特別支援の観点でも効果があります。

まずは紙面全体をながめ、今日の学習をイメージしましょう。



point 1
学習の流れがわかりやすい

1 図 食事の役割

特別活動「食事を通じた人間関係」他教科

りんご

生活のリズムをつくる

命や健康を維持する

体を成長させる

活動のエネルギーとなる

食文化を伝承する

人と人とのつながりをつくる

2 図 朝食の食べ方と心身の状況

家族そろって食べる	おとなの家族の誰かと食べる	子どもだけで食べる	一人で食べる
35%	25%	20%	20%

■ 疲れやすさを感じることがない
■ イライラすることがない

（日本スポーツ振興センター「平成22年度児童生徒の食事状況等調査」より作成）

一人で食べる？ みんなで食べる？

何を、いつ、誰と、どのように食べるかということも、健康にとって大切なことです。一人だけで食事をしたり（**孤食**）、いっしょに食事をしてもそれぞれが食べたいものを食べたり（**個食**）するなど、いわゆる「こしよく」が増えているといわれています。家族や友人とともにする食事（**共食**）は、コミュニケーションの場となります。楽しく食事をすることは**体の健康**だけでなく、心の健康にもよい影響を与えてくれます（2図）。

他教科との関連が見える

カリキュラムマネジメントの観点から、他教科と他分野の関連は上部に示しています。他教科の学習も意識させることができます。

本文と図の関係が見える

図番号と本文にある参照図番号は表記をそろえているため、授業で活用する場面が明確になります。

先輩からのエール

あなたはあなたがお手紙で言っているように、あなたはあなたです。You are what you eat. は80年ぐらい生き続けられるのです。つまり、食べ物はわたし

今、自分のものと思っている体は、1年たったらほとんど入れ替わります。君たちは今、ここにいません。今もいません。それでも、何となく自分です。ジグソーパズルの絵は変わらない。その一つひとつはとんとん更新されてこれが生命現象の本質で、これをや

正月の雑煮のように、日本の行事にも、世界の食文化も取り入れられる

学習のまとめ B 食生活

1 次の文章の正しいものには○を、まちがっている場合は正答を書き入れてみましょう。（知識・技能）

- ある中学生は、五大栄養素を次のようにあげました。糖質（ ）たんぱく質（ ）脂肪（ ）炭水化物（ ）鉄（ ）
- 卵・肉・魚・大豆は、同じ食品群である。（ ）
- 生の肉や魚を切ったあとは、細菌がついているので、使った包丁やまな板をよく洗い、細菌を落とし、使用後は日光にあてるなどよく乾かす。（ ）
- ひき肉はかたまりの肉より細菌が増えやすい。（ ）
- 肉をのせているトレイに赤い汁（ドリップ）があることがある。これは肉が新鮮な証拠である。（ ）

評価も見える

章末の「学習のまとめ」では、評価の三観点に応じた、確認問題に取り組み、学習をふり返ることができます。自己評価にもつながります。